

令和5年習志野市議会第1回定例会

(会期：令和5年2月16日～3月17日)

一般質問通告表

【確定版】

習志野市議会

目 次

発言 順位	質 問 日	質 問 者 (所属会派)	質 問 予定時間	頁
1	2月27日(月)	関 根 洋 幸 議員(元気な習志野をつくる会)	60分	1
2		真 船 和 子 議員(公明党)	60分	1
3		宮 内 一 夫 議員(市民の会)	60分	2
4		藤 崎 ち さ こ 議員(新社会の会)	60分	2
5		取下げ	—	—
6	2月28日(火)	央 重 則 議員(環境みらい)	60分	3
7		清 水 晴 一 議員(公明党)	60分	3
8		小 川 利 枝 子 議員(公明党)	60分	4
9		相 原 和 幸 議員(元気な習志野をつくる会)	60分	4
10	3月1日(水)	市 角 雄 幸 議員(環境みらい)	60分	5
11		飯 生 喜 正 議員(元気な習志野をつくる会)	50分	5
12		木 村 孝 浩 議員(公明党)	50分	6
13		荒 原 ち え み 議員(日本共産党)	60分	7
14	3月2日(木)	中 山 恭 順 議員(環境みらい)	60分	8
15		入 沢 俊 行 議員(日本共産党)	60分	8
16		斉 藤 賢 治 議員(真政会)	60分	9
17		木 村 孝 議員(民意と歩む会)	60分	9
18	3月3日(金)	谷 岡 隆 議員(日本共産党)	60分	10
19		平 川 博 文 議員(都市政策研究会)	60分	11
20		佐々木 秀 一 議員(真政会)	60分	13
21		宮 城 壮 一 議員(民意と歩む会)	50分	13

○ 関 根 洋 幸 議 員

1 都市政策について

- (1) JR津田沼駅周辺再開発事業の進捗状況について

2 SDGs政策について

- (1) 「習志野市SDGs戦略」の策定状況について

3 教育行政について

- (1) 入学資金給付制度について

○ 真 船 和 子 議 員

1 子育て政策について

- (1) 令和5年度の取組について

2 環境政策について

- (1) 「ゼロカーボンシティ習志野」表明後の取組について

3 帯状疱疹ワクチン接種費用助成について

4 地域問題について

- (1) 「あたご橋交差点」の道路改良工事について

○ 宮 内 一 夫 議 員

- 1 ごみ問題
 - (1) 新清掃工場問題について
 - (2) 資源物の売却について
- 2 四市複合事務組合問題について
 - (1) 三山園あり方検討審議会の進捗について
- 3 会計年度任用職員の労働条件について

○ 藤 崎 ち さ こ 議 員

- 1 放課後児童会について
 - (1) 放課後児童会の保育の充実について
 - (2) 支援員・補助職員の処遇の改善について
- 2 コロナ禍の影響と子どもたちの成長について
 - (1) マスクや行動制限が、子どもたちの成長に及ぼす影響について
- 3 公共施設の再生について
 - (1) 現状について
 - (2) 今後の計画について

○ 央 重 則 議員

- 1 市長の行政運営について
 - (1) 米山（前危機管理監）問題について
- 2 環境問題について
 - (1) ごみ問題等について
- 3 教育問題について
 - (1) いじめ対策について
 - (2) 公開研究授業について

○ 清 水 晴 一 議員

- 1 持続可能なまちづくりについて
 - (1) グリーンインフラ（雨庭）の導入について
 - (2) ブルーインフラの導入について
 - (3) サードプレイスについて
- 2 防災・減災について
 - (1) 事前復興計画の策定について
- 3 文化・芸術について
 - (1) プラッツ習志野のアートカフェの支援について

○ 小 川 利枝子 議員

1 行財政施策について

(1) 習志野市の施策の拡充を見据えた債権管理について

2 子育て支援策について

(1) 誰も置き去りにしない、安心できる乳幼児施策について

① ひまわり発達相談センターの現状はどのようになっているのか伺う

○ 相 原 和 幸 議員

1 谷津干潟について

(1) 干潟内のアオサの発生状況について

2 道路について

(1) 車道と歩道のバリアフリー化について

3 鷺沼地区土地区画整理事業に向けた取組について

(1) 組合設立に向けた進捗状況について

○ 市 角 雄 幸 議 員

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - (1) コロナ5類移行後の医療体制について
- 2 介護保険事業について
 - (1) 総合事業の進捗について
 - (2) 高齢者相談センターの運営の現状について
- 3 デジタル化の推進について
 - (1) 公民館等公共施設へのフリーWi-Fiの設置について
- 4 子育て事業について
 - (1) こども家庭庁発足に伴う本市の子育て政策について
 - (2) 「未就園児向けの預かり事業」について

○ 飯 生 喜 正 議 員

- 1 不登校児童・生徒の現状について
- 2 児童虐待防止の支援策について
- 3 都市計画道路3・3・1号線整備事業ほか2事業について
- 4 地域問題について
 - (1) 実籾3丁目地域の雨水による水害の対策について

○ 木 村 孝 浩 議 員

1 環境問題について

- (1) 新清掃工場事業等について
- (2) プラスチック・リサイクルについて
- (3) ごみ集積所及び収集方法について

2 UR袖ヶ浦団地の再生事業について

- (1) 再生事業の進捗状況と今後の展開について
- (2) URとの連携協定関連と既存施設の活用等について

3 都市環境について

- (1) ハミングロード事業の現状と今後の展開について
- (2) 庁舎跡地と菊田遊歩道及び鷺沼城址公園の連続性について

○ 荒 原 ち え み 議 員

- 1 新型コロナウイルス感染症が「5類」になることに対する市の判断と対応について
 - (1) 習志野市の現状から「5類」に引下げありきの切替えは、拙速過ぎ危険過ぎだと思うが市長の見解を伺う
- 2 市民の声にきちんと向き合う市政づくりを
 - (1) 実籾5丁目の共同受信設備撤去について
 - (2) 実籾1丁目のマンション建設での電波障害等の対策について
- 3 近所迷惑な空き家の改善が進まないことについて
 - (1) 4月1日からの民法改正により越境した枝の剪定が可能となるが具体的にどうなるのか伺う
- 4 国民健康保険料を上げるよりも健康支援対策を
 - (1) 国保の医療費が増える中で、積極的な健康支援対策を求める
 - (2) 口腔ケアの成果と市民への普及について
- 5 市立小・中学校の給食費全員無償化を求める
- 6 陸上自衛隊習志野駐屯地・演習場について
 - (1) 1月の降下訓練始めについて
 - ① 防衛省から1月8日の降下訓練始めの連絡の経緯と市が市民への周知や対策をどのように実施したか伺う
 - (2) 空飛ぶ欠陥機オスプレイについて

○ 中山 恭 順 議員

1 宮本市長の政治姿勢について

(1) 前議会で、まるで私にいじめられているかのような発言が恫喝に近い形で行われた。私は責任を感じ、政治家を引退するが、市長はどう責任を取っていただけるのか

(2) 米山前危機管理監の退職金について

① 任期を意図的に1日短くし、それに係る退職金予定額について、間違えた説明をしていたことで、約220万円退職金が少なくなってしまった。そもそも、国家資格である地域防災マネージャーの有資格者なので、年300万以上の交付金が国から交付されてたのではないか。市長は何の行政資格を有しているのか。任期毎に約2,000万円の退職金を満額受給していないか。部下であった者の退職金を切り捨て、自身が満額受給する根拠はどこか。自衛隊に対し、いつ謝罪するのか

2 賀詞交歓会における来賓挨拶で発言があった今後の文化ホール建設の根底を揺るがす発言について

○ 入 沢 俊 行 議員

1 「緊急に対策が必要な」京成津田沼駅踏切（谷津第5号踏切）の「開かずの踏切」解消について

2 ハッピーバス海浜線の停留所「京成津田沼駅」について

3 都市計画道路の整備について

(1) 梅林公園周辺の3・4・4号藤崎花咲線と3・4・11号大久保鷺沼台線の整備について

(2) 3・3・3号藤崎茜浜線の整備について

4 環境への負荷の少ないまちづくりについて

(1) 2021年に改正された地球温暖化対策の推進に関する法律とゼロカーボンシティ習志野の表明後の取組について

(2) 制定30年を迎えた習志野市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例について

① ほぼ横ばいで推移している事業系ごみの9%削減目標達成について

② プラスチック資源循環促進法施行について

(3) 一般家庭ごみ処理費用を有料化して市民に負担を求めることについて

5 芝園清掃工場の溶融メタルの売却について

○ 齊 藤 賢 治 議 員

1 新型コロナウイルス感染症について

- (1) マスク着用について3月13日より国が方針を変更するとしているが、どのように変わるのか
- (2) 感染症法上の位置づけが5月8日から「5類」となるとしているが、どのようなことが変わるのか
- (3) 学校における取扱いが今後どのようになるのか

2 消防行政について

- (1) 令和4年の火災発生について

○ 木 村 孝 議 員

1 教育格差是正のための学習支援策について

2 放課後子供教室について

3 谷津南小学校への路線バスによる通学について

4 電子図書館サービスについて

5 地域での認知症への支援について

6 奏の杜地区の道路照明灯について

7 市民サービスにおいて、キャッシュレス決済やクレジットカード決済について

8 証明書コンビニ交付について

9 防災対策について

10 いじめ防止プログラム、いじめ早期発見、認知後の対応、解決について

○ 谷 岡 隆 議員

- 1 野村不動産主導でタワーマンション、商業施設、習志野文化ホールの複合施設を建設しようとする「JR津田沼駅南口市街地再開発事業」について
 - (1) 市長は所信表明で「JR津田沼駅周辺地域における民間の開発等を適切に誘導する」と述べたが、学校・保育所がパンク状態の谷津小学校・第一中学校の学区に、新たにタワーマンションを建設する再開発計画を容認するつもりなのか
 - (2) 周辺地域の住環境や教育環境に多大な影響を与える再開発ビルの建設を検討しているのに、野村不動産も習志野市も地域住民や市議会に検討内容等の情報提供を全く行わないのは無責任ではないか
 - (3) 住環境や教育環境、市財政などにマイナスの影響を与えかねない再開発ビルに、習志野文化ホールを組み込んでよいのか
- 2 教職員による児童・生徒への性暴力等発生時の対応について
 - (1) 教育委員会会議で報告された「教職員による児童生徒への性暴力等発生時の対応について」では、司法面接の位置づけが不明瞭ではないか
 - (2) 初期対応において、市長部局の人権担当の部署の協力も得て、教育委員会以外の目を入れてはどうか
- 3 いじめ防止対策推進法の「重大事態」への対処について
 - (1) いじめ問題対策委員会（第三者委員会）がまとめた最終報告書に対し、保護者から88ページに及ぶ批判的な所見が習志野市と千葉県へ提出されているが、今後どのように対応していくのか
- 4 学習用タブレットの子どもと保護者の負担について
 - (1) 「タブレットが重く持ち帰りが大変」が多いというアンケート結果を受け、学習用タブレットの「置き勉」を認め、充電保管庫を整備することを求める
 - (2) 自宅での通信料の負担についてどのように対応するか
- 5 「駅前案内図に史跡・文化財・記念碑の表示を求める請願」への対応は進んでいるか
- 6 会計年度任用職員と任期付職員の退職金の扱いについて
 - (1) 会計年度任用職員と任期付職員の勤続期間で1年に満たない部分（例えば11か月）が生じた場合、退職金はどのように対応するのか
 - (2) 前危機管理監の任期の更新時に4年分の退職金になることは説明されていたか

○ 平 川 博 文 議 員

- 1 宮本泰介市長&荒木勇前市長の人事権を考える。吉川清志元資産管理室長、横井宏遠元総務部副参事、本城章次良元企業管理者、富谷輝夫元副市長の市長人事について、職員意識調査から考える。懲役1年執行猶予3年の市役所公務員が普通退職した。懲戒免職処分ではない。なぜなのか
- 2 習志野市長・市議会議員選挙の開票結果に、重大な疑念を抱いてきた。平成19年6月27日。千葉検察審査会（司法機関）から、習志野市の開票作業に当たる公務員の態度や姿勢は明らかにルール違反を犯していると指摘され、強く反省を求められてきた。選挙に対する認識の甘さを猛省し、今後、襟を正した改善を市民に示さなければ、市民の市政に対する不信感は払拭されないとの指摘を受けてきた。さらに、平成18年10月6日のテレビ朝日報道で、ビデオ映像解析の専門家の東京理科大学の半谷教授は、市民に対する重大な裏切り行為があると断定した。このとき、不正開票選挙の実行犯の市役所公務員に対する社会的制裁がなかった。習志野市役所内部で、全てもみ消された。内部調査報告書は、作成されていない。近年の不正開票選挙の手口として、期日前投票箱の鍵をひそかに事前に開けて、投票用紙の差し替えが香川県高松市、宮城県仙台市、滋賀県甲賀市などで連続して発覚し、市役所公務員の総務部長をはじめ、選挙管理委員会事務局長などの逮捕者が出ている。全国的傾向がある。投票箱をひそかに開けて、投票用紙をすり替える。実行者は選挙候補者ではなく市役所公務員。候補者個人の選挙違反と比べてはるかに巧妙、悪質といえる。習志野市の期日前投票箱は、どうなっているのか。千葉県警や習志野警察署の警察公務員が本気で習志野市役所公務員による期日前投票箱の投票用紙の窃盗を阻止するためには、何が有効なのか。落選している者が当選し、当選している者が落選しているのではないか
- 3 前弁護士市長の発言を会議録で見ると、「この土地をどうだ、ああだとすると、すぐ利権があるんじゃないかとか、僕らが言うとなぐにそう言われる。僕の不徳のいたすところでございますけどね」と発言してきた。財源確保を理由に売却したのに、安値で売却している。令和2年7月JR津田沼駅前44階建て、タワーマンションが完成した。財源確保を理由に、市有地を売却してきた。71億と56億の入札価格で、56億で習志野市は、「三菱地所レジデンス・三井不動産レジデンシャル・野村不動産」に売却した。759戸のうち、特別販売の事業協力者住戸についての存否が再三にわたって不明瞭になっている。なぜ、電話ではなく、文書での回答を事業者から求めないのか
- 4 猛暑の熱中症対策として、市立幼稚園・小中学校にエアコンを緊急設置してきた。事業費は、22億3,994万円に上る。ところが、緊急対応の工事発注に絡んで、元市議会議長と元市議会副議長が関与する工事業者が利権介入したことが表面化している。市役所公務員の関与なくして、議員利権は成立しない。市会議員が関与している福井電機の受注金額を隠すのはなぜなのか
- 5 平成23年11月7日、荒木勇前市長の平成9年当時のJR津田沼駅南口26億円の土地取引の件で東京地検特捜部に刑事告発した。時効により、不起訴処分となった。26億の借入金の返済が26年間になった。指定暴力団関係者から買い取られた3,000坪の土地は、現在、谷津小学校の前の公園用地の半分になっている。最近、この指定暴力団関係者が、町内谷津3丁目に住んでいることが

分かった。前市長が株式会社新平和代表取締役社長に、土地売買代金として、9億9,356万8,000円を即金で支払ってきた。26億円の経過利息、返済総額、返済終了時期は、いつか。返済合計金額は、31億3,380万3,476円。なぜ、26年の長期返済期間になったのか

- 6 今から10年前の2011年1月31日、JR津田沼駅南口で弁護士の資格を有する荒木勇前市長の同意により、資産家の79歳の高齢女性とその娘さんが暮らす住宅に、早朝から電動のこぎりの大音響による住宅の解体、強制執行がJR津田沼駅南口土地区画整理組合により強行された。資産家の地権者に対する忘れてはならない悲惨な権限の行使となった。荒木勇前市長は、指定暴力団関係者と土地取引をする一方、資産家の高齢女性を痛めつけてきた。なぜ、土地区画整理組合の解散が10年以上、出来ないのか。なぜ、長期にわたる裁判経過を報告しないのか

○ 佐々木 秀 一 議員

- 1 これまで取り組んできた市の施策
 - (1) 今後のDX（デジタルトランスフォーメーション）について
 - (2) 情報発信の戦略
- 2 都市整備について
 - (1) 区画整理と再開発事業について
- 3 教育行政について
 - (1) 不登校児童・生徒の現状と、これまでの対応について
 - (2) 市立小中学校の教職員の療養休暇及び休職の現状と対応について
- 4 私の質問してきた事項の進捗状況
 - (1) デジタル図書について
 - ① 図書館でのデジタル図書の取組状況について
 - ② 学校でのデジタル図書の取組状況について
 - (2) 防犯カメラ設置費補助金制度の概要と実績について
 - (3) Wi-Fiスポットについて

○ 宮 城 壮 一 議員

- 1 NHK受信料について
 - (1) 住民票の取扱いについて
 - (2) 消費生活センターに寄せられた相談及び苦情などについて
- 2 信書の取扱いについて
- 3 京成大久保駅前 市道の不法占用について
 - (1) 現状と今後について